

Windows/Mac/iOS 新OS対応状況一覧表

2022年1月14日 現在

Ver.21H2 : Windows 10 November 2021 Update
 Ver.21H1 : Windows 10 May 2021 Update
 Ver.20H2 : Windows 10 October 2020 Update
 Ver.20H1 : Windows 10 May 2020 Update
 Ver.1909 : Windows 10 November 2019 Update
 Ver.1903 : Windows 10 May 2019 Update

○ : 対応済み
 △ : 一部制限ありで動作可能
 × : 動作検証中 または 未対応
 - : 非対応

- 未定部分は、決定次第お知らせします。
 - 動作検証中のみは、検証完了次第情報更新します。
 - 注意事項は対応しない場合があります。

製品名	実行バージョン	Windows 10	Windows 10	Windows 10	Windows 11	Windows Server 2022	対応予定バージョン	対応時期・備考
		Ver.20H2 対応状況	Ver.21H1 対応状況	Ver.21H2 対応状況	対応状況	対応状況		
QND Premium	Ver.11.0.6i	△	△	△	△	△	未定	■Windows 10 Ver.1903以降 【制限事項】 ・外部メディア制御機能が有効の場合、Windows Sandboxは起動しません ・アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません ・Windows 10 v2004以降では、グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10 の更新制御」による設定の変更ができません 【注意事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・Windows Subsystem for Linux 1.0のファイルシステムに対する配布はできません (Ver.21H2では配布が行えます) ・Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted) の設定が禁止されたため、ソリューション利用時に次の注意事項があります 「ランチ準備レベル: SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます ■Windows 11 【制限事項】 ・Windows 11のOS/バージョンが「Windows 10」として取得されます。 ・カスタムインベントリ「HDD 健全性チェック」が取得されません。 ・アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません ・グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10 の更新制御」による設定の変更ができません ・操作性対応機能には、対応していません。 【注意事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・Windows Subsystem for Linux 1.0のファイルシステムに対する配布はできません ・Windows 10の更新制御利用時に「ランチ準備レベル: SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます ■Windows Server 2022 【制限事項】 ・Windows Server 2022のOS/バージョンが「Windows Server 2019」として取得されます 【注意事項】 ・Windows Subsystem for Linux 1.0のファイルシステムに対する配布はできません ■Windows 10 Ver.21H2 【制限事項】 ・Windows 10更新モデル「General Availability Channel」が「SAC」と取得される
	Ver.3.9.1i	○	○	×	×	×	未定	■Windows 10 Ver.1903以降 【注意事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・コンピュータ実行中にリファレンスPCを利用したポリシー条件の更新スケジュールを実行するとSPMコンソールがフリーズすることがあります 現象発生時はタスクマネージャーからSPMコンソールを終了し再度コンソールを起動するようお願いいたします ■Windows 10 Ver.21H2 / Windows 11 検証時期調整中 ■Windows Server 2022 検証時期調整中
	Ver.1.2i SP13	○	○	×	×	×	未定	■Windows 10 Ver.1903以降 【注意事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ■Windows 10 Ver.21H2 / Windows 11 検証時期調整中 ■Windows Server 2022 検証時期調整中
	Ver.5.2	○	○	×	×	×	未定	■Windows 10 Ver.1903以降 【注意事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・Windows Sandbox内のブラウザおよびアプリの連携は制御されません ■Windows 10 Ver.21H2 / Windows 11 検証時期調整中 ■Windows Server 2022 検証時期調整中
	Ver.2.6.11.2i (*1)(*2)	○	○	△	△	△	未定	■Windows 10 Ver.1903以降 【注意事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です *1 Ver.2.6.10でも同様 *2 QCL Ver.2.6.9では以下の事象が発生します ・260文字以上のフォルダパス上でファイル操作をすると、QCLクライアントが異常終了する ■Windows 11 【制限事項】 ・Power Automate Desktopでファイル操作時に、操作ログが取得できないことがある ・Power Automate Desktopの「ドキュメント印刷」でファイルを取得する場合、プリンターログが取得されない ・Windows11の新機能であるスナップ レイアウト機能とスナップ グループ機能が、QCLコンソールでは使用できない ・Windows11の新機能であるコントラストテーマを利用している場合、QCLコンソールのスナップショットビューアでスナップショットが表示されない ・QCLクライアントのアンインストールした場合、イベントログにエラーが記録されることがある ■Windows Server 2022 【制限事項】 ・クライアント自動バージョンアップ機能にて、Windows Server 2022 が Windows Server 2019として認識される ■Windows 10 Ver.21H2 ・QCLクライアントのアンインストールした場合、イベントログにエラーが記録されることがある
QND Standard	Ver.11.0.6i	△	△	△	△	△	未定	■Windows 10 Ver.1903以降 【制限事項】 ・アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません ・Windows 10 v2004以降では、グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10 の更新制御」による設定の変更ができません 【注意事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・Windows Subsystem for Linux 1.0のファイルシステムに対する配布はできません (Ver.21H2では配布が行えます) ・Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted) の設定が禁止されたため、ソリューション利用時に次の注意事項があります 「ランチ準備レベル: SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます ■Windows 11 【制限事項】 ・Windows 11のOS/バージョンが「Windows 10」として取得されます。 ・カスタムインベントリ「HDD 健全性チェック」が取得されません。 ・アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません ・グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10 の更新制御」による設定の変更ができません 【注意事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・Windows Subsystem for Linux 1.0のファイルシステムに対する配布はできません ・Windows 10の更新制御利用時に「ランチ準備レベル: SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます ■Windows Server 2022 【制限事項】 ・Windows Server 2022のOS/バージョンが「Windows Server 2019」として取得されます 【注意事項】 ・Windows Subsystem for Linux 1.0のファイルシステムに対する配布はできません ■Windows 10 Ver.21H2 【制限事項】 ・Windows 10更新モデル「General Availability Channel」が「SAC」と取得される
	Ver.3.9.1i	○	○	×	×	×	未定	■Windows 10 Ver.1903以降 【注意事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・コンピュータ実行中にリファレンスPCを利用したポリシー条件の更新スケジュールを実行するとSPMコンソールがフリーズすることがあります 現象発生時はタスクマネージャーからSPMコンソールを終了し再度コンソールを起動するようお願いいたします ■Windows 10 Ver.21H2 / Windows 11 検証時期調整中 ■Windows Server 2022 検証時期調整中
	Ver.1.2i SP13	○	○	×	×	×	未定	■Windows 10 Ver.1903以降 【注意事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ■Windows 10 Ver.21H2 / Windows 11 検証時期調整中 ■Windows Server 2022 検証時期調整中

製品名	実行バージョン	Windows 10 ~Ver.20H2	Windows 10 Ver.21H1	Windows 10 Ver.21H2	Windows 11	Windows Server 2022	対応予定バージョン	対応時期・備考
		対応状況	対応状況	対応状況	対応状況	対応状況		
QND Advance	Ver.11.0.6i	△	△	△	△	△	未定	<p>■Windows 10 Ver.1903以降 【制限事項】 ・外部メディア制御機能が有効の場合、Windows Sandboxは起動しません ・アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません ・Windows 10 v2004以降では、グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10 の更新制御」による設定の変更ができません 【注意事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・Windows Subsystem for Linux 1.0のファイルシステムに対する配布はできません (Ver.21H2では配布が行えます) ・Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted) の設定が廃止されたため、ソリューション利用時に次の注意事項があります 「プランチ準備レベル: SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます</p> <p>■Windows 11 【制限事項】 ・Windows 11のOS/バージョンが「Windows 10」として取得されます。 ・カスタムインベントリ「HDD 健全性チェック」が取得されません。 ・アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません ・グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10 の更新制御」による設定の変更ができません ・最新対応機能には、対応していません。 【注意事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・Windows Subsystem for Linux 1.0のファイルシステムに対する配布はできません ・Windows 10の更新制御利用時に「プランチ準備レベル: SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます</p> <p>■Windows Server 2022 【制限事項】 ・Windows Server 2022のOS/バージョンが「Windows Server 2019」として取得されます 【注意事項】 ・Windows Subsystem for Linux 1.0のファイルシステムに対する配布はできません</p> <p>■Windows 10 Ver.21H2 【制限事項】 ・Windows 10更新モデル「General Availability Channel」が「SAC」と取得される</p>
SPM	Ver.3.9.1i	○	○	x	x	x	未定	<p>■Windows 10 Ver.1903以降 【注意事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・コンピュータ実行中にリファレンスPCを利用したリソースの更新スケジュールを実行するとSPMコンソールがフリーズすることがあります 現象発生時はタスクマネージャーからSPMコンソールを終了し再度コンソールを起動するようお願いします</p> <p>■Windows 10 Ver.21H2 / Windows 11 検証時期調整中</p> <p>■Windows Server 2022 検証時期調整中</p>
QPM	Ver.1.2i SP13	○	○	x	x	x	未定	<p>■Windows 10 Ver.1903以降 【注意事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です</p> <p>■Windows 10 Ver.21H2 / Windows 11 検証時期調整中</p> <p>■Windows Server 2022 検証時期調整中</p>
License Guard	Ver.5.2	○	○	x	x	x	未定	<p>■Windows 10 Ver.21H2 / Windows 11 検証時期調整中</p> <p>■Windows Server 2022 検証時期調整中</p>
URL Filtering	Ver.5.2	○	○	x	x	x	未定	<p>■Windows 10 Ver.1903以降 【注意事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・Windows Sandbox内のブラウザおよびアプリの通信は制御されません</p> <p>■Windows 10 Ver.21H2 / Windows 11 検証時期調整中</p> <p>■Windows Server 2022 検証時期調整中</p>
QND ClientLog	Ver.2.6.11.2i (*1)(*2)	○	○	△	△	△	未定	<p>■Windows 10 Ver.1903以降 【注意事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です *1 Ver.2.6.10でも同様 *2 QCL Ver.2.6.9では以下の事象が発生します ・260文字以上のフォルダパス上でファイル操作をすると、QCLクライアントが異常終了する</p> <p>■Windows 11 【制限事項】 ・Power Automate Desktopでファイル操作時に、操作ログが取得できないことがある ・Power Automate Desktopの「ドキュメント印刷」でファイルを印刷する場合、プリンターログが取得されない ・Windows11の新機能であるスナップ レイアウト機能とスナップ グループ機能が、QCLコンソールでは使用できない ・Windows11の新機能であるコントラストテーマを利用している場合、QCLコンソールのスナップショットビューアでスナップショットが表示されない ・QCLクライアントのアンインストールした場合、イベントログにエラーが記録されることがある</p> <p>■Windows Server 2022 【制限事項】 ・クライアント自動バージョンアップ機能にて、Windows Server 2022 が Windows Server 2019として認識される</p> <p>■Windows 10 Ver.21H2 ・QCLクライアントのアンインストールした場合、イベントログにエラーが記録されることがある</p>
QND ClientLog	Ver.2.6.11.2i (*1)(*2)	○	○	△	△	△	未定	<p>■Windows 10 Ver.1903以降 【注意事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です *1 Ver.2.6.10でも同様 *2 QCL Ver.2.6.9では以下の事象が発生します ・260文字以上のフォルダパス上でファイル操作をすると、QCLクライアントが異常終了する</p> <p>■Windows 11 【制限事項】 ・Power Automate Desktopでファイル操作時に、操作ログが取得できないことがある ・Power Automate Desktopの「ドキュメント印刷」でファイルを印刷する場合、プリンターログが取得されない ・Windows11の新機能であるスナップ レイアウト機能とスナップ グループ機能が、QCLコンソールでは使用できない ・Windows11の新機能であるコントラストテーマを利用している場合、QCLコンソールのスナップショットビューアでスナップショットが表示されない ・QCLクライアントのアンインストールした場合、イベントログにエラーが記録されることがある</p> <p>■Windows Server 2022 【制限事項】 ・クライアント自動バージョンアップ機能にて、Windows Server 2022 が Windows Server 2019として認識される</p> <p>■Windows 10 Ver.21H2 ・QCLクライアントのアンインストールした場合、イベントログにエラーが記録されることがある</p>

製品名	実行バージョン	Windows 10 ~Ver.20H2	Windows 10 Ver.21H1	Windows 10 Ver.21H2	Windows 11	Windows Server 2022	対応予定バージョン	対応時期・備考	
		対応状況	対応状況	対応状況	対応状況	対応状況			
ISM CloudOne	Ver.7.0	○	○	△	×	△	未定	■Windows 10 Ver.1903以降 【制限事項】 ・Windows 10 v2004以降の場合、ハードウェアインベントリの「Windows Update情報」にある「更新方法」が空欄になる場合があります ※グループポリシー「コンピューターの構成」-「管理用テンプレート」-「Windowsコンポーネント」-「Windows Update」で、「自動更新を構築する」を「有効」にし、「7-自動ダウンロード、インストール時に通知、再起動を通知」を選択している場合に本対象を確認 【注意事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・Windows Subsystem for Linuxのファイルシステムに対する配布はできません ・Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted)の設定が廃止されたため、Windows 10 Update設定利用時に次の注意事項があります a. Windows 10 Update設定で、「更新モデルを指定する：SACT」を選択してもクライアントに反映されません b. ハードウェアインベントリの「Windows 10 更新モデル」が常に「SAC」になります ■Windows 11 ・ユーザーコンソールのダッシュボードにある「OS割合数：Windows」グラフでWindows 10としてカウントされます ・ソフトウェア配布の対象OSとしてWindows 10を選択すると、Windows 11のクライアントにも配布されます ・Windows 11(バージョン21H2)の値は、ハードウェアインベントリのOS情報にある「Windows 10(バージョン)」の箇所に表示されます ・更新モデルの情報(SAC)は、ハードウェアインベントリのOS情報にある「Windows 10更新モデル」の箇所に表示されます ・Windows 11の新機能である「コントラストテーマ」には対応していません ■Windows Server 2022 【制限事項】 ・ユーザーコンソールのダッシュボードにある「OS割合数：Windows」グラフで「2016/2019」としてカウントされる ■Windows 10 Ver.21H2 【制限事項】 ・Windows 10更新モデル「General Availability Channel」が「SAC」と取得される	
	外部メディア制御 (オプション)	Ver.7.0	○	○	○	×	-	未定	■Ver.1903以降 【注意事項】 ・外部メディア制御機能が有効の場合、Windows Sandboxは起動しません
	操作ログ (オプション)	Ver.7.0	○	○	○	×	○	未定	■Windows 11 ・ファイル保存時に操作ログが取得できない場合があります。 ・プリントログを取得できない場合があります。 ・プリインストールされているMicrosoft Teamsでファイルをダウンロードする場合は、操作ログが収集できません。 ・Power Automate Desktopでファイル操作したときに、操作ログが取得できない場合があります。
	ふるまい検知 (オプション)	Ver.3.4.3	○	○	○	×	×	未定	■Windows 11 検証時期調整中 ■Windows Server 2022 検証時期調整中
	ディスク暗号化 (オプション)	82.10.9575	○*	×	×	×	-	未定	* 対応状況についてはサービス事業者もしくは販売店までお問い合わせください
	URL Filtering (オプション)	Ver.5.2	○	○	×	×	-	未定	■Ver.1903以降 【制限事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・Windows Sandbox内のブラウザおよびアプリの通信は制御されません。 ■Windows 10 Ver.21H2 / Windows 11 検証時期調整中
KeyServer	Ver.7.6	○	△	×	×	×	未定	■Ver.1903以降 【制限事項】 ・Windows 10 20H2/21H1のOSバージョンは「2009」と表示されます 【注意事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ■Windows 10 Ver.21H2 / Windows 11 検証時期調整中 ■Windows Server 2022 検証時期調整中	
eX WP	Ver.4.4i SP5	△	△	×	×	-	未定	■Ver.1903/1909/2004 【制限事項】 ・RP1モード、またはRP2モードの場合、Windows Sandboxは起動しません。 ■Ver.20H2/21H1 ・Windows 10 20H2/21H1へのバージョンアップに失敗する場合があります ■Windows 10 Ver.21H2 / Windows 11 検証時期調整中 ■Windows Server 2022 検証時期調整中	
QQR	Ver.1.4	○	×	×	×	×	未定	■Ver.21H1 動作検証中 ■Windows 10 Ver.21H2 / Windows 11 検証時期調整中 ■Windows Server 2022 検証時期調整中	
Quality Gaiho PDF Suite	Ver.5.5	△	△	×	△	△	未定	■Windows 10 Ver.1903/1909/2004/2009/20H2/21H1/Windows 11/Windows Server 2022 【制限事項】 ・Windows 10 1903以降、Windows 11、Windows Server 2022においてGaiho PDF Suiteインストール時、PDFビューアをGaiho Docに変更しても、設定が変更されません。 ■Windows 11 ・コントラストテーマを使用した際、一部UIが正しく表示されません。 ・Office:未インストール環境で、テキストファイルをPDFファイルへ変換できません。	

製品名	実行バージョン	macOS (10.15)	macOS (11)	macOS (12)	対応予定バージョン	対応時間・備考
		対応状況	対応状況	対応状況		
QND Premium/Advance/Standard	Ver.11.0.6i	△	△	△	未定	<p>[制限事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TCP接続機能が利用できません。 ・macOS 10.13.4より、Adobe製品情報収集プラグイン(AdobeInfo)、フォント情報収集プラグイン(BizPackFont)のインベントリを実行した際にクラッシュにてエラー発生が原因でログが取得されず。 ・本報告表示に関しては、Webページ(https://support.apple.com/ja-jp/hc208436)を参照ください。 ・リモートコントロールを利用できません。 ・以下のインベントリプラグインを利用できません。 <ul style="list-style-type: none"> ・Adobe製品インベントリ(AdobeInfo) ・フォントインベントリ(BizPackFont) ・コンソール(Console.app)は、UTF-16LEに対応していません。テキストエディタ(TextEdit.app)を利用してSystemPreferences(Text encodingを[UTF-16LE]に設定してQND.logを参照してください。 ・sandboxタイプのアプリケーションは、SUを利用して起動できません。sandboxタイプのアプリケーションのメニューから[View] → [Columns] → [Sandbox]をOnにします。ActivityMonitor.appの画面の[Sandbox]の列に、sandboxタイプのアプリケーションは「Yes」、非sandboxタイプのアプリは「No」が表示されます。ActivityMonitor.appの画面の[Sandbox]の列に、sandboxタイプのアプリケーションは「Yes」、非sandboxタイプのアプリは「No」が表示されます。 ・ソフトウェア配布の設定として「タスク」→「配布」→「ファイル転送」で指定する「配布するソフトウェアのプロパティ」で「指定ファイルが転送先フォルダにある場合転送、なければ転送しない」を指定時、比較先ディレクトリ名を設定しても参照せず、転送先ディレクトリ名を参照して動作します。 ・ソフトウェア配布の設定として「タスク」→「配布」→「ファイル転送」で指定する「配布するソフトウェアのプロパティ」で「指定先ディレクトリ名を設定して「コピー元がないファイル削除」をオンで利用する場合、事前にmacOSの設定で、「システム環境設定」→「セキュリティとプライバシー」→「プライバシー」で「QND」に対するフルディスクアクセス権限のチェックを有効にする必要があります。 ・Apple M1 CPU では、インベントリのCPU スピード、CPU 外部クロックは、正確な値を収集できません。 ・任意インベントリを入力した場合、設定時間に達したら入力動作中でもタイマログが閉じられます。 ・任意インベントリを入力した内容をmacOS 12.0の翻訳機能で翻訳すると翻訳結果を表示する吹き出しにも表示されません。
QND ClientLog	Ver.2.6.11.2i	○	×	×	未定	<p>[制限事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画像収録設定(*)でQND ClientLogクライアントを許可する必要があります。 ・(*)画像収録で許可する手順 <ol style="list-style-type: none"> 1. 画面上で任意の操作ログアラートを発生させる 2. OS標準の「システム環境設定」アプリの「セキュリティとプライバシー」-「画像収録」からQND ClientLogクライアントを許可する ・macOS 11 / 12 では一部のログが正しく取得できない、ログイン時にエラーが記録される等、正常に動作しません。
ISM CloudOne	Ver.7.0i	○	○	○	-	<p>[制限事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ISMクライアントのインストール時に、ファイルへのアクセスを許可する必要があります。 ・Ver.6.6.11以前のISMクライアントをインストールした状態でmacOS 10.14からmacOS 10.15にアップグレードすると、ISMクライアントが動作しません。 ・ISMクライアントの通知を許可しない場合、アラート通知やメッセージ通知が表示されません。 ・画像収録設定(*)でISMクライアントを許可していない場合、操作ログアラート発生時のスクリーンショットが壁紙とメニューバーのみの表示になります。また、デスクトップに表示しているアプリケーションの情報は表示されません。 ・(*)画像収録で許可する手順 <ol style="list-style-type: none"> 1. 画面上で任意の操作ログアラートを発生させる 2. OS標準の「システム環境設定」アプリの「セキュリティとプライバシー」-「画像収録」からISMクライアントを許可する ・macOS 10.14にISMクライアント(64bit版)をインストールした状態でmacOS 10.15へバージョンアップすると、外部デバイス制御や操作ログ取得が正常動作しない場合があります。 ・macOS 10.15にISMクライアントを新規インストールした場合は発生しません。 ・macOS 10.15以前にVer.6.8.10以上のクライアントはインストールできません。Ver.6.8.9をご利用ください。 <p>[注意事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ISMクライアントがインストールされている端末をmacOS Montereyにアップグレードした場合、OSの通知アイコンに削除付きのマークがオーバーレイ表示される場合があります。本表示は端末を再起動することで解消します。なお、本表示がされてもISMクライアントの動作には支障はございません。
KeyServer	Ver.7.6	○	△	×	未定	<p>[制限事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KeyServer Ver.7.6 更新プログラム(202001)適用により対応します。 ・KeyServer Ver.7.6 更新プログラム(202001)未適用の場合、macOS搭載のGatekeeperが、Apple社サードパーティアクセスできる場合のみ公証済みとして動作します。macOS 11では、以下の制限があります。 ・OSバージョンが、10.16と表示されます。 ・Apple M1 CPUの場合でもCPUタイプにIntelのCPUが表示されます。

製品名	実行バージョン	iOS 14		対応時間・備考
		対応状況	対応予定バージョン	
ISM CloudOne	Ver.7.0i	△	未定	<p>[注意事項]</p> <p>インハウス版アプリはiOS11.0以降に非対応</p> <p>[制限事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監視モード(*)に切り替えない場合、ポリシー構成プロファイルで制御ができない場合があります。 ・(*)「Apple Configurator 2」でiOS端末を「監視モード」に切り替えることで端末制御が可能です。ただし、iOS端末単位で設定が必要です。なお、iOS12からバージョンアップした場合、前回で与られているプロファイルが変更されるまでは非監視モードでも制御が可能です。変更されると端末の制御ができなくなります。 ・「設定アプリ」>「プライバシー」>「位置情報」で、iOSクライアントプログラムの位置情報取得権限を「常に許可」及び「正確な位置情報」を有効にしなければ、位置情報を取得できません。 ・個人データ取得同意確認メッセージの内容が正常に表示されない場合があります。 ・ISMサーバーで自己署名の証明書を使用している場合、MDM構成プロファイルをインストールできません。 <p>※下記の機能は動作可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・iOSクライアントの初期登録 ・インベントリ収集 ・位置情報取得 ・違反ポリシーの届出 ・全配布ソフトウェアのアンインストール ・パスコード初期化 ・リモートロック ・リモートワイプ ・ソフトウェア配布 ・禁止ソフトウェア設定 ・アプリケーションポータル ・MDM構成プロファイル削除通知

製品名	実行バージョン	iPadOS 14		対応時間・備考
		対応状況	対応予定バージョン	
ISM CloudOne	Ver.7.0i	△	未定	<p>[制限事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監視モード(*)に切り替えない場合、ポリシー構成プロファイルで制御ができない場合があります。 ・(*)「Apple Configurator 2」でiOS端末を「監視モード」に切り替えることで端末制御が可能です。ただし、iOS端末単位で設定が必要です。 ・「設定アプリ」>「プライバシー」>「位置情報」で、iOSクライアントプログラムの位置情報取得権限を「常に許可」及び「正確な位置情報」を有効にしなければ、位置情報を取得できません。 ・個人データ取得同意確認メッセージの内容が正常に表示されない場合があります。 ・ISMサーバーで自己署名の証明書を使用している場合、MDM構成プロファイルをインストールできません。 <p>※下記の機能は動作可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・iOSクライアントの初期登録 ・インベントリ収集 ・位置情報取得 ・違反ポリシーの届出 ・全配布ソフトウェアのアンインストール ・パスコード初期化 ・リモートロック ・リモートワイプ ・ソフトウェア配布 ・禁止ソフトウェア設定 ・アプリケーションポータル ・MDM構成プロファイル削除通知